

政策課題③ ● 健康・元氣・安心社会の実現

【政策提言⑤】 高齢者が生き生き暮らせる健康長寿社会の構築

1.民間・地域・行政が一体となった健康増進施策の展開を

高齢者が生きがいを持って、住み慣れた地域で、自分らしく、元気で暮らし続けられるよう、

- ❶ 高齢者の生きがいを創出する、協働のまちづくりにおける高齢者の能力を活かすシステムづくり
- ❷ 高齢者の社会参加を促進する、気軽に立ち寄れる集会場の拡充
- ❸ 高齢者の暮らしを支える、買い物支援
- ❹ 高齢者の健康増進を図る、水中運動が可能な健康増進施設の整備

等、民間・地域・行政が一体となって、健康増進施策を展開すべきである。

2.広大な市域を見据えた地域包括ケアシステムの構築を

要支援者、要介護者になっても自宅で、あるいは住み慣れた地域で暮らし続けるためには、地域包括ケアシステムの構築が不可欠である。

とりわけ、地域包括ケアシステムの主要課題である地域支援事業を推進するためには、支所地域においても地域包括支援センター機能を整備し、身近で相談できる環境を整備すべきである。

また、介護サービスを確実に提供できるようにするため、高齢者の人権や財産を守ることができる、成年後見制度も積極的に活用すべきである。

加えて、広大な市域を持つ本市においては、デイサービスやショートステイ等、介護サービスにおける地域間格差の是正、訪問診療・訪問看護・訪問介護が一体的に提供できる在宅支援システムのICT化等をすすめるべきである。



政策課題③ ● 健康・元氣・安心社会の実現

【政策提言⑥】 すべての子どもが健やかに育つ環境の整備

1.親亡き後も含め、すべての子ども達に対応できるケアシステムの確立を

児童虐待や障がい児（者）の生育環境における課題は、「相談機能」と「サービス機能」が欠けていることに起因しており、こうした課題を解決するためには、

- ❶ 基幹型相談支援センター、児童家庭支援センター、児童発達支援センター等の設置による相談機能体系の確立
- ❷ 保健師・保育士・教師・行政職員間等の人事交流による連携と相談スキルの養成
- ❸ プロフィールブック等、情報共有ツールの活用によるライフステージごとにつながる相談支援体制の整備
- ❹ 支所地域における地域包括支援センターと基幹型相談支援センターの兼用等、身近で相談できる環境の整備

等の視点から、親亡き後への対応も含め、すべてのニーズに対応できる、課題解決のためのシステム、ケアシステムを確立すべきである。

なお、児童虐待や障がい児（者）にとって、緊急性の高いサービスについては、意欲とスキルのある民間の力を活用し、早急に整備すべきである。

